

比較結果①

●測定方法

37℃のお湯に5分浸した後の経過を測定（5分毎）

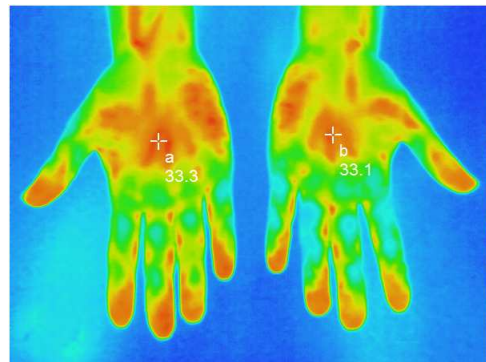
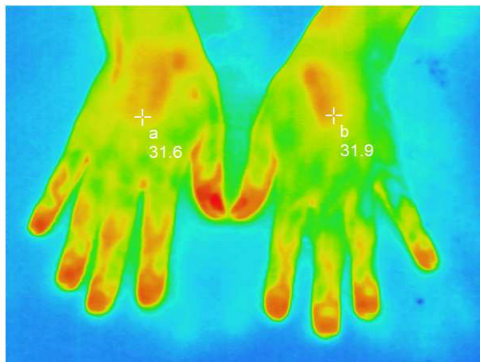
右手：マイクロ・ナノ・バブル・シャワー（新）

左手：一般シャワー

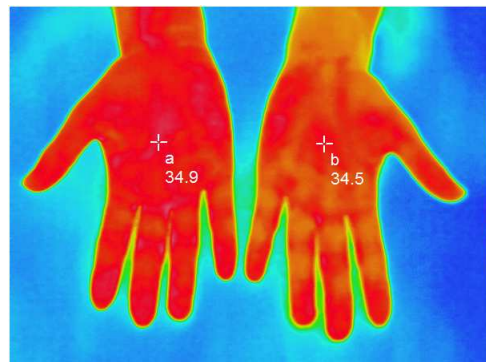
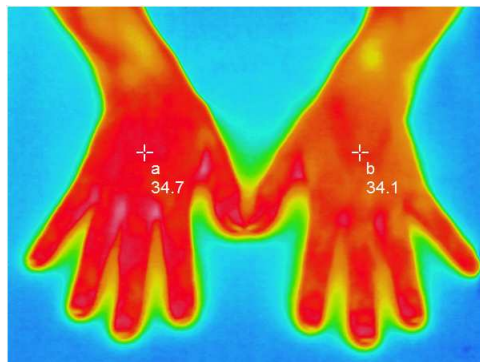
画像左側：マイクロ・ナノ・バブルシャワー（新）

画像右側：一般シャワー

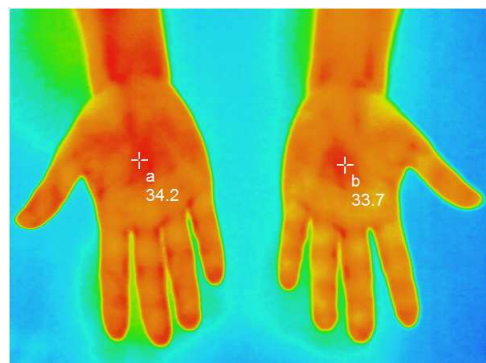
【実験前】



【5分浸した後】



【最終結果】



比較結果①の詳細

37℃のお湯にそれぞれ、(右手：マイクロ・ナノ・バブルシャワー、左手：一般シャワー) 5分浸し放置し、時間の経過を測定しました。

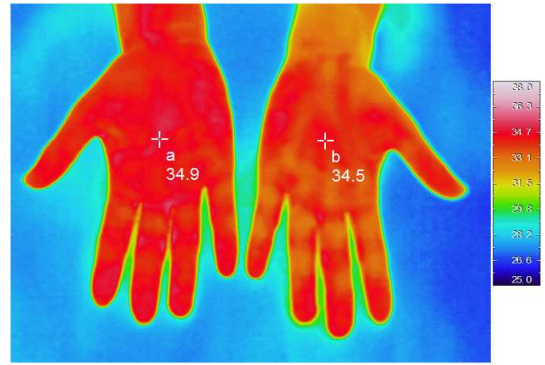
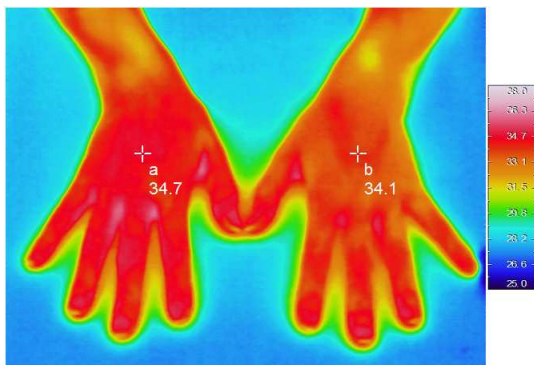
サーモの写真から、マイクロ・ナノ・バブルシャワーの方が、手が全体に温かくなり、温度が下がるのもゆっくりであることが分かりました。

よって、一般のシャワーよりも保温効果があることが分かりました。

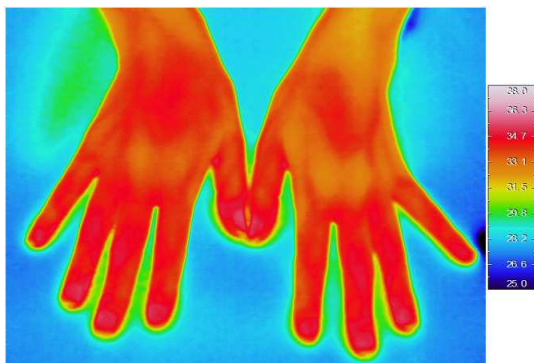
経過

上述記載の比較結果、【5分浸した後】お湯から出した後の状態変化

【5分浸した直後】



【お湯から出して5分後】

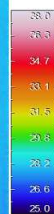


【10分後】

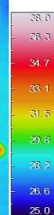
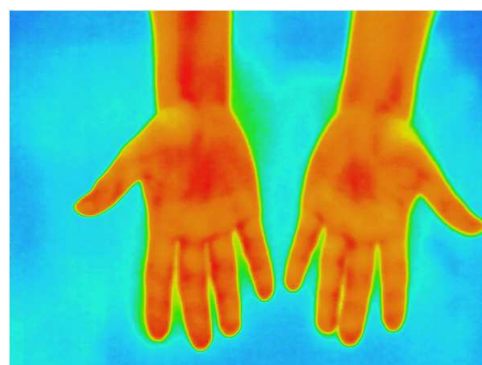


経過(続き)

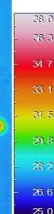
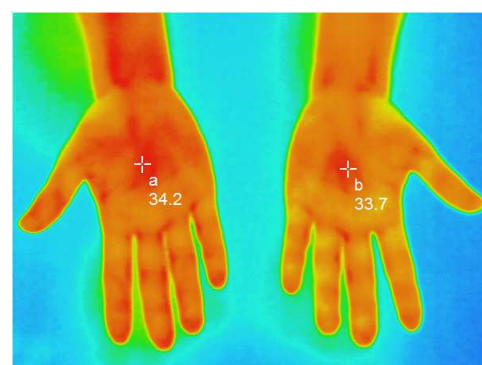
【15分後】



【20分後】



【25分後】



経過の詳細

時間経過は、5分ごとに25分間測定を行いました。

手の甲は20分後までの方が、結果がわかりやすかもしれません。

最後に温度が上がった理由として考えられるのは、モニターが放置時、手を浮かせず、手の甲を机に置く形で、放置してしまったことです。

手の平は、25分後までで正常に結果が出ました。

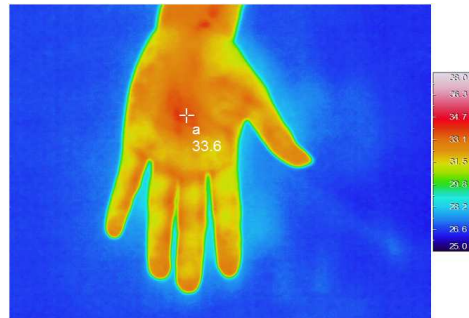
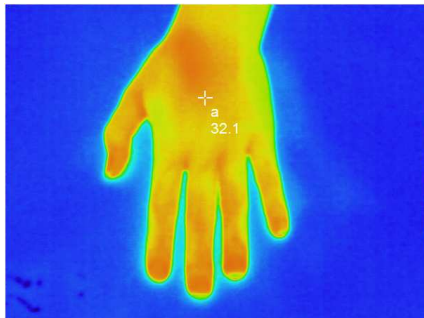
マイクロ・ナノ・バブルシャワーは手全体だけではなく、手首まで温まっている事が見受けられます。

マイクロ・ナノ・バブルシャワー（旧）結果

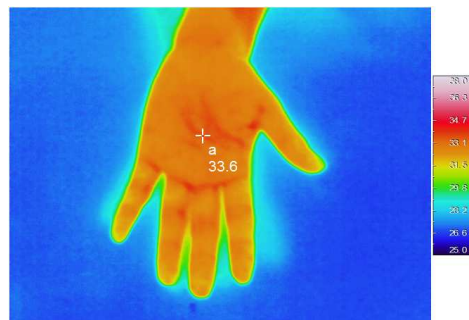
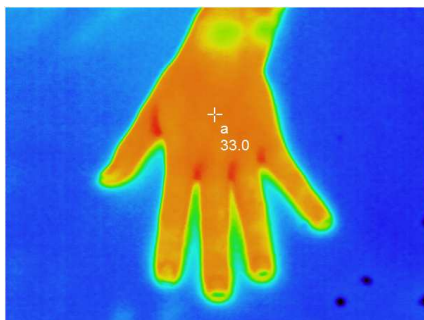
●測定方法

37℃のお湯に浸けたままでの測定

【実験前】

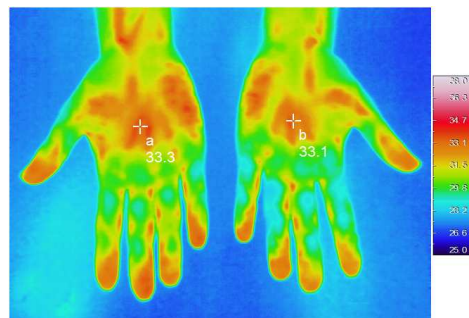
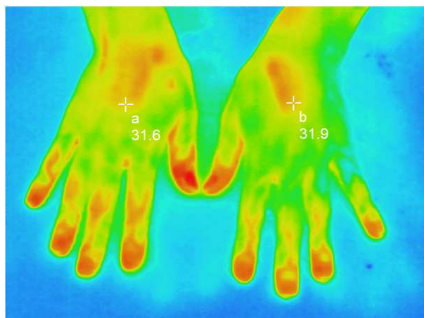


【5分後】

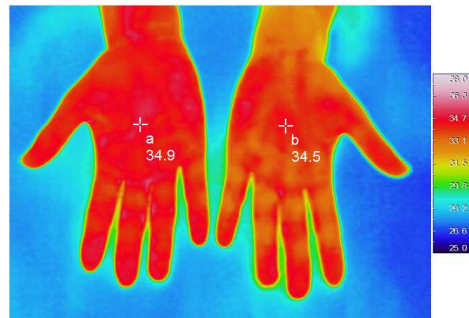
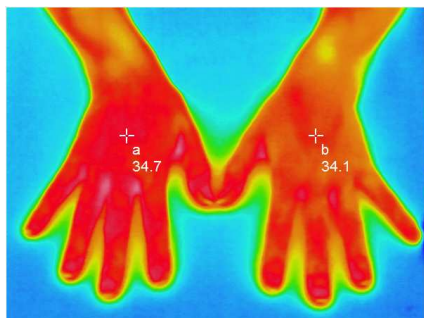


●【画像左】マイクロ・ナノ・バブル（新）と【画像右】一般のシャワーヘッド

【実験前】



【5分後】



比較結果②

●測定方法

37℃のお湯に浸けたままの状態経過を測定

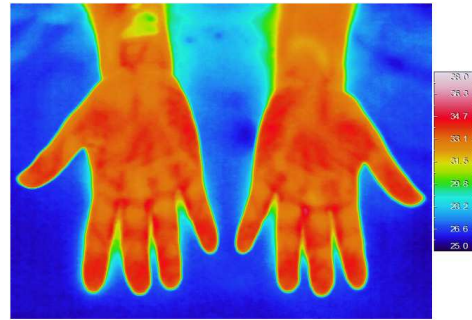
右手：マイクロ・ナノ・バブルシャワー（新）

左手：一般シャワー

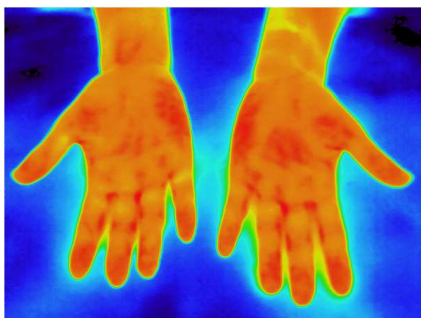
【実験前】



【5分後】



【10分後】



【15分後】



37℃のお湯に 5 分、10 分、15 分浸したサーモの結果は、実験の途中で、お湯が冷めてしま
い思うような結果が出ませんでした。

参考までに、モニター結果を送らせて頂きます。